

美濃市森林ボランティアクラブ 活動中!



とまっぴ

新しき柚人たちの羅針盤
第14号

平成21年1月1日

NPO法人 柚の杜学舎
〒501-3781 美濃市片知 1109-4

森づくり片知支援センター内

TEL&FAX 0575-37-2115

URL: <http://www.somanomori.or.jp/>

e-mail: info@somanomori.or.jp



美濃市森林ボランティアクラブ 結成までの経緯について



美濃市森林ボラン
ティアクラブ

丸茂 豊

平成20年4月「美濃市森林ボランティアクラブ」が結成されました。そのメンバーは現在約30名からなり、その大半が「みの森林塾」のOBです。勿論私もその一人です。

今から4年前、美濃市報の募集欄で目に留まりましたのがこの「みの森林塾」(美濃市産業振興部産業課主催)の生徒募集でした。がしかし何分にも年齢的、体力的な面で躊躇しましたが思い切って担当

者の方に電話をいたしましたところ、なんと「適齢期」とのことです。早速申し込み、その第1回の受講となりました。幸いそのメンバーの中には何人かの顔見知りの方もいてホッとしました。ここ美濃市には「森林文化アカデミー」と言う立派な専門校が在り、そこで教鞭をとっておられる教授がこの塾の講師となつて、又同校のOBで「NPO法人柚の杜学舎」の皆さんには講師として、時にはアシスタントとなつて終始お世話になりました。

思いおこせば、当時台風や集中豪雨による被害が各地で発生しました。その原因のひとつに、放置林の倒木が押し流されて川の堰となり、流域の民家や田畑に多大な被害をもたらした。そんな状況下での受講は、実にタイミング良く、毎回の講義そして実技は興味津々でした。

「みの森林塾」は技術面でも次第に高度化し、ついにはチェーンソーによる伐倒(間伐)作業となるさすがに緊張の連続でした。この森林塾は、毎月1回で6回の受講がひとつの単位として終了することになっておりました。がしかし翌年も、翌々年も、と結局10名近いメンバーが3年連続の受講生として修了する事となりました。その頃主催者側から今後の方針として、ボランティアとしての結成が持ち上がりました。その結果、みの森林塾のOBを主としたメンバー約30名による「美濃市森林ボランティアクラブ」として、平成20年4月に正式に発足する事となりました。当面の活動日を毎月第2土曜日とし、特別な理由がない限り決行としました。従つてメンバーへの連絡は「中止又は延期」以外の連絡はせず、あくまでも自主参加としました。活動内容

として、まずは里山の整備から始める事になりました。幸いな事に、メンバーの中に3年間塾でお世話になった「杣の杜学舎」からも2名がクラブ員として入会されたことで、部員一同強い味

方として大歓迎しました。従って今でも、ともしれば塾の延長と錯覚することもあります。

さて先刻のチエンソーに戻りますが、その魅力は何といつても樹齢30〜40年の杉の大木を、まず倒す方向を定め更に幾つかのチェック項目をクリアし、思い通りの結果が出た時の満足感はまた格別です。しかし何といつても「動力を持つ刃物」だけにそれとは裏腹に、ひとつ間違えば大惨事にもなりかねない、そんな緊張感にはメンバーの誰もが持つ共通の不安もあると思います。そうした中で第1歩を踏み出して早や半年が経過しましたが、ボランティア活動も「楽しくかつ真剣に」を、モットーに確実な歩を重ねることが、しいては地球温暖化防止に繋がればと、夢は大きく今後の活動に邁進したいと思っています。

最後となりましたが、塾の終了まで、そしてボランティアクラブとしての立ち上げまでを、お世話になりました、美濃市産業振興部産業課と、森林文化アカデミーおよびNPO法人杣の杜学舎の皆さんのご指導に対し厚く御礼申し上げますと共に、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく御願いたします。



活動地 以安寺山にて

「美濃市森の環境づくり推進委員会」報告

里山景観林整備推進部会長 鈴木章

去る七月十日、地域全体が一体となって森林の問題を解決する体制として『美濃市森の環境づくり推進委員会』が設立されました。

委員会の中には「放置人工林対策部会」と「里山景観林整備推進部会」が設置され、それぞれ中濃森林組合と杣の杜学舎が事務局を務めることとなりました。

八月十九日に第一回の各部会が開催され、部会として、どのような取り組みを展開していくかが話し合われました。

放置人工林対策部会では、間伐の遅れた放置人工林を健全で災害に強い森林に再生するため、間伐事業地の団地化の試みを実践する計画が発表されました。神洞地区を中濃森林組合が、片知地区を杣の杜学舎と大原林産の共同で集約化に取り組むことが報告されました。

また、利用間伐については、委員会のメンバーでもあるカネキ野村木材店と中濃森林組合の共同で、県の推進する「森づくりプロジェクト」の取り組みが発表されました。十月には、委員全員で各取り組みの現地見学を実施し、より理解を深めることができました。

また、放置人工林対策の大きな課題である「不明確な森林境界の問題」に対する取り組みを委員会の取り組みとして検討する必要があるのでは

はないかと提案が出されました。

また、里山景観林整備推進部会では、市で整備した以安寺山のオープニングイベントの計画と今後の以安寺山の活用について、委員会のメンバーである美濃市森林ボランティアクラブから提案があり、来春のオープニングイベントに向けて市と協働で準備を進めていくことになりました。

さらに、片知地区の「ふくべの森」を中心として、市民と地域の住民が一体となった里山林整備や里山活動の提案が事務局から出され、活動の候補地としてふくべの森の新田地区の現地見学を実施し、委員の方々から活用方法や活動計画について意見交換を行いました。

スタートしたばかりの委員会ですが、今後はプロジェクト実行型の委員会として、夢と希望のある委員会にしたいと思っています。



委員による現地見学会(10月1日)

また映画の話題を取り上げて恐縮ですが、この夏の終わりから公開された邦画に「20世紀少年」という映画がありました。上映期間も通常より長く公開されていましたので、今年当たった映画の一つだったのではないのでしょうか。この映画はマンガ家浦沢直樹先生原作の漫画を実写化した映画で、3部構成となっており、今年公開された第一章に続き、第二章が年明け一月三一日から公開となつていきます。話の内容は、1960年代の終わり、小学生だった主人公等が夢見て作った「よげんの書」の内容が20世紀も終わろうとしている頃、謎の「ともだち教団」によって実行、人類が滅亡の危機に見舞われるというのが、第一章。さらに21世紀に入ってから物語は続いていくという壮大な叙事詩になっています。私の方は映画公開前、映画館でポスターを見て、この映画が浦沢直樹先生原作のものだと知りかなり興味をそそられ(好きな漫画家の一人として)、原作を読み漁ってしまいました。謎が謎を呼ぶサスペンス的ストーリー展開のおもしろさは勿論あるのですが、描かれている主人公達の子供時代に出てくるその時代のエピソード、カルチャーといったものが、ふんだんに散りばめられているおもしろさもあります。その時代が自分の子供時代とほぼ被っている為、マニアックな自分にはまつてしまったのでした。

前置きが長くなりましたが、「こ」からが本題です。原作中、そして映画の中に、ある場面でこんなセリフが出てきました。「俺達が空想していた2000年ってこんなだったか?」「すごい未来都市になっているはずだったのにな。」このセリフは2000年夏頃、主人公が行方知れずだった幼馴染と東京の渋谷繁華街辺りで再会する場面出てきました。セリフ自体は物語上、それ程重要なものではないかもしれませんが、このセリフは私が21世紀を迎える頃に抱いた気持ちと同じだった事を思い出させたのです。

私も小学生ぐらいの頃は、きつと21世紀というのは超近代的な高層ビル群が立ち並び、道路の上をエアーカーが走り、空にはジェットヘリや超音速ジェット機が、みたいな未来を描いていました。言ってみれば、その当時あったドラえもんや宇宙戦艦ヤマトの様な漫画やアニメに描かれていた様な未来都市を想像していたのです。(正確には設定は21世紀ではありませんが。)ところが、実際には先のセリフ同様、そんな未来はきていません。東京や大阪、名古屋といった大都市では、確かに高層ビル群が立ち並び、空想していた未来都市に近いものになりつつあるかもしれませんが。しかし、日本の田舎は勿論都市郊外の風景は70年代頃と、劇的には「変わったくないように思います。家屋の様式とかは変わったかもしれませんが、いわゆる、里山の風景は昔ながらの風景の様に見えます。この現象自体には大人になった今、非常に「ほつ」としています。何故なら、もし、里山地域が未来的都市風景に変貌していたら、当然、そこにあった自然は潰されたということになるからです。そうならないということは、まだ

自然が残っているということです。当たり前に見えて、実は非常に重要なことではないでしょうか。もし、日本が科学的進歩だけを目指して、開発を押し進めていたとしたら、果たして今の里山風景がどこまで残っていたのでしょうか?

しかしながら、日本の里山は今、危機に瀕しているといわれています。かねてからの宅地開発やレジャー、経済的目的による開発もありますが、農業不振、国策による休耕地の増加等によってその風景の消滅が増加しています。今の自分の立場からいうと、なにより気になるのは、遠目には緑豊かに見える里山の雑木林が、人が入らなくなり荒れていることです。今から40〜50年前に人の生活に石油、ガス、電気が入り込んで以来、それまでエネルギーの大半を「木」に頼ってきた日本人の生活に大きな変化が起きました。それ以来、人が山に入ることが少なくなりました。何百年、何千年も人が山に入り、木を伐って利用してきたことよって形成された日本の森。そこには数多くの生物が棲み続けることができる生態系も形成されてきました。それが消滅しつつある…。これについては紙面が無くなってきましたので、また号を改めて、私の思いを語りたいと思います。

折りしも、今年、美濃市には、この号にも取り上げられている「森林ボランティアクラブ」「森の環境づくり推進委員会」ができました。これらが里山風景危機の救世主になることを期待したいと思います。(次号に続く)

【活動報告】 2008年(春) ～ 2008年(秋)

● 間伐事業(施業プランナー基礎研修実地事業)

今年度、県の主催する「施業プランナー養成基礎研修」に参加し、間伐の団地化に取り組んでいます。

今回の研修は、施業プランナーの養成基礎研修として、30軒程度の間伐団地を設定することから、現況調査の手法、作業路の設計及び高性能林業機械の活用方法、施業提案書の作成、施業の結果の検討まで、一連の作業を林業普及指導員と一体となつて、実際に現場での作業を並行して実施しています。

今回、同研修を私と一緒に受けている大原林産(郡上市)の小森さんと協力し、杣の杜学舎・大原林産共同事業体(JV)を組み、当法人の事務所のある美濃市片知地区で間伐団地を設定し、事業の集約化を進めているところです。

去る九月二十六日



間伐事業説明会(9/26)

「団地間伐事業の説明会」を中濃森林組合、中濃農林事務所、美濃市産業課、森林文化アカデミーの協力を得て開催し、現在約40軒の間伐施業地の集約化を進めることができました。十一月より順次間伐作業に取り掛かり、来年度は、利用間伐への取り組

みも大原林産とともに進める予定であります。

● 段戸山小商い本舗(ネット通販事業)

前号でオープンした報告をしました薪と炭のネットショップ「段戸山小商い本舗」のその後の状況を報告します。

薪ストーブ愛好家にとっては、そろそろ薪の準備に動き出す時期です。当ショップでも十月頃から薪の注文が入り始めました。ネットショップの受注管理は、今のところ通常業務前後に私(鈴木)が余力(?)で運営しています。今年(鈴木)の状況を見て、もう少し本腰を入れようかと考えているところです。森林資源の有効活用としても、とても「夢」の膨らむ仕事です。そして、何より私の林業修業の地である設楽町の「三河炭やき塾」に行くのが最大の楽しみでもあります。来年度は、事業拡大もあきらかなとひそかにたくらんでおります。(鈴木 章)



ナラ薪 30kg 箱入り
2,220 円 (送料無料)

薪・炭のご用命は、今すぐ

検索：段戸山小商い本舗

クリック

杣の杜学舎 収支決算報告書(平成17年度～平成19年度)

科目・概要	平成17年度 金額	平成18年度 金額	平成19年度 金額
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入	106,000	119,000	94,000
2 事業収入	8,854,222	12,891,100	14,038,356
3 補助金・助成金収入		300,000	60,000
4 寄付金収入	453,000	210,000	23,000
5 その他収入	13,810	55,556	15,154
当期経常収入合計	9,427,032	13,575,656	14,230,510
II 経常支出の部			
1 事業費	6,425,899	9,354,088	10,152,564
2 管理費	2,563,965	3,397,348	3,442,009
当期経常支出合計	8,989,864	12,751,436	13,594,573
当期経常収支差額	437,168	824,220	635,937
III 当期経常外収入	1,250,000	3,880,000	4,500,000
IV 当期経常外支出	2,079,500	1,674,251	3,117,094
当期経常外収支差額	-829,500	2,205,749	1,382,906
当期収支差額	-392,332	3,029,969	2,018,843
前期繰越収支差額	1,181,195	788,863	3,818,832
次期繰越収支差額	788,863	3,818,832	5,837,675
主な事業	間伐事業	間伐事業	間伐事業
	以安寺山森林景観形成工事	以安寺山森林景観形成工事	以安寺山森林景観形成工事
	小倉公園森林景観整備事業	小倉公園遊歩道整備	小倉公園森林景観整備事業
	山火事跡地のメンテナンス業	保安林整備事業測量業務	森林景観整備調査事業